

脱炭素から考える 豊かな未来

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする目標を掲げる日本と韓国。脱炭素社会構築に向け、再生可能エネルギーである風力発電の整備が両国で進んでいます。村上市・胎内市沖で洋上風力発電事業がスタートするなど、風力発電は新潟県においても大きなテーマです。本シンポジウムでは風力発電に関わる両国の専門家や事業者とともに、今後の展望や課題について考えます。

6月28日(金)

15:00～17:30 [開場14:30]

会場 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール
(新潟市中央区万代3-1-1)

定員 100人 (事前申込制・先着順)

入場無料

プログラム

●第1部 講演

- ①「世界の洋上風力技術の発展が市場拡散及び経済性に及ぼす影響と韓国の洋上風力開発戦略」
金範錫(キム・ボムソク)さん
済州大学大学院風力工学部副教授
- ②「洋上風力発電に対する期待と今後の展望」
荒川忠一さん
東京大学名誉教授／世界風力エネルギー学会副会長

●第2部 報告

- ①「斗山エナビリティの風車事業について」
朴成俊(パク・ソンジュン)さん
斗山エナビリティジャパン株式会社 代表取締役
- ②「新潟県村上市及び胎内市沖洋上風力発電事業について」
前田 益尚さん
村上胎内洋上風力コンソーシアム
(三井物産株式会社 国内プロジェクト開発部 次長)

●第3部 パネルディスカッション

パネリスト:金範錫さん、荒川忠一さん、朴成俊さん、前田 益尚さん
コーディネーター:新潟日報社 論説編集委員 中村 茂

パネリスト



金範錫さん
(キム・ボムソク)
済州大学大学院
風力工学部副教授



荒川忠一さん
東京大学名誉教授／
世界風力エネルギー学会
副会長



朴成俊さん
(パク・ソンジュン)
斗山エナビリティジャパン
株式会社 代表取締役



前田 益尚さん
村上胎内洋上風力コンソーシアム
三井物産株式会社
(国内プロジェクト開発部 次長)

このままFAX送信してください

FAX送信先:025-385-7476

お申し込み

右のQRコード、またはFAXでお申し込みください。



【参加する際の注意事項】

- ※ご参加いただける方には、後日「参加のご案内メール」をお送りいたします。当日受付の際、スタッフにお名前をお伝えください。
- ※ご応募いただいた個人情報は当事業の案内に使用します。

フリガナ			
お名前			
電話番号	-	-	年齢 歳
住所 〒			
メールアドレス(※必須)			

「参加のご案内メール」をお送りいたします

【主催】 駐新潟大韓民国総領事館、新潟日報社
 【後援】 新潟県、新潟市 【協力】 一般社団法人SDGsにいがた
 【お問い合わせ】 新潟日報社 統合推進センター
 TEL.025-385-7473(土日祝を除く10:00～17:00)